

キャラクター名  プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ	ワークス	レネゲイドビーイングD	カヴァー	メイド
	ブラックドッグ				
オプショナル		年齢		性別	女性？
覚醒	素体	衝動	恐怖	初期侵食率	45%
出自		経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	65
肉体	4	0	0			4	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	0	1	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	6		交渉	1	
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	RC	1r+21				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
変異種:ブラックドッグ	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	2	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ペインエディター	7		常時					
効果:	HP+[Lv×5]							
アクティベイト	5	4	マイナー					
効果:	HP[Lv×3]消費し、達成値をその分上昇							
イオノクラフト	1	1	マイナー					
効果:	飛行状態で戦闘移動							
コンセントレイト:ブラックドッグ	2	2	メジャー					
効果:	CL-[Lv]							
雷の槍	1	2	メジャー	視界		RC		
効果:	攻撃力+[Lv×2+4] 近接不可 ダイス-1							
フラッシングプラズマ	5	4	メジャー	視界	シーン	RC	ピュア	
効果:	シーン全体へ ダイス-[5-Lv]							
雷鳴の申し子	1	5	メジャー				シンドローム	ピュア
効果:	攻撃力+[最大HP-現在HP]							
フルインストール	3	4	イニシアチブ					100
効果:	ラウンド間 ダイス+[Lv×3]							
ハードワイヤード	7		常時					
効果:								
ヒューマンズネイバー	1							
効果:	衝動判定ダイス+[LV]							
オリジン:ヒューマン	1	2						
効果:	エフェクト使用した判定の達成値+[LV]							
	★							
効果:								
効果:								

ガロン博士の助手というか世話役兼護衛として創られたというホームクルスメイド。しかし、ガロン博士は彼女のことを「失敗作」と言っていた。「君は私が創った生命ではない」と

10年以上前、彼女はガロン博士のもとで働き、世話になり、世話をして生きていた。彼は愛情をもって自分に接してくれており、彼女も彼に対して誠意を持って世話をしていた。お互いの関係は主従として良好であり、親愛、もしくは信頼は確かに互いにあった。

そう、彼女はホームクルスでありながら感情を自認していた。それを博士が認識したときに、上の言葉が出た。「君は私が創った生命ではない」

彼の死に際から託された「匣」がある。彼はこれを「世界の真実を知った時に開け」と言った。それを果たすまで彼女は死ねないし、主はガロン博士であると認識している

終わった後、自分はどうすればいいのだろうと思っている。彼女には感情がある、心がある、そして、それを自認している。だからこそ、彼女は思うのだ。「そんな私でも、『次』に何を行えばいいかわからないのです」と

性格はどこかこう、捻じれている。どんな相手に物怖じはしない。そして、思ったことは口に出す。ツッコミもする。ただ、メイドであるという誇りと生来上の性格から、世話焼きであり困ったものは見過ごせない。その在り方はヒーローと言ってもいいものだと思う